

# 第36回防衛セミナー実施概要

## 新たな防衛計画の大綱

～国民の命と平和な暮らしを守るために～



主催者：堀地南関東防衛局長

令和元年5月28日（火）横浜市市民文化会館 関内ホール（小ホール）において、「新たな防衛計画の大綱～国民の命と平和な暮らしを守るために～」をテーマに、防衛省整備計画局 末永防衛計画課長を招聘し「第36回防衛セミナー」を開催しました。

冒頭、主催者である堀地南関東防衛局長が、同日行われたトランプ米国大統領による護衛艦「かが」の訪問について触れ、我が国の主体的な防衛力整備とともに、日米同盟強化の重要性について述べました。



末永課長への質問の様子

続いて第1部では、末永防衛計画課長が、『新たな「防衛計画の大綱」・「中期防衛力整備計画」について』と題して、極めて速いスピードで変化している我が国を取り巻く安全保障環境や、宇宙・サイバー・電磁波領域の強化などを通じた領域横断作戦能力の強化などについて講演を行いました。



第1部：末永防衛計画課長

第2部では、南関東防衛局 山口企画部長より「神奈川県内における在日米軍施設の過去・現在・未来」と題して、日米同盟の強化には在日米軍施設の安定的な運用が不可欠であること、米軍施設の運用についてご理解を得るために、周辺地域との調和を図るための施策を実施していることなどについて説明がありました。

セミナーには200名以上の方にご来場頂き、「防衛行政への理解・協力を得るのに有効な取組だと思う」、「今後どのような分野に注力して防衛能力を維持・強化していくのか良くわかった」、「在日米軍施設の重要性を国民に理解してもらうのは非常に重要であり、引き続きセミナーを実施してほしい」といった感想が寄せられました。



第2部：山口企画部長